

住み慣れた場所で安心して暮らすために ～地域の医療と介護は…～

- ＊ 在宅で、苦しまずに逝けますか？
- ＊ 24時間の見守りって今の制度で可能？
- ＊ 病院と在宅診療所の連携は？
- ＊ 在宅で安心して独り死を迎えられる？
- ＊ 訪問診療って？
- ＊ 医療保険と介護保険の在宅での利用の違いは？

などなど、住み慣れた場所で最期まで暮らし続けるためには、何が必要でしょうか。

介護保険制度がスタートして20年が経ちました。たび重なる改正で「変節」し、使いにくくなったと言われていますが、介護保険制度と医療と介護の連携なしには、地域で生き抜くことは困難です。在宅医療（訪問診療・訪問看護）と在宅介護（訪問介護・通所介護など）と地域の助け合い、見守りが重要です。

1992年、「出かける医療」をモットーに住民の共同出資で開設された「菜の花診療所」。訪問診療・訪問介護を行い、2003年にはケアプランセンターとヘルパーステーションを併設して在宅での生活を支援してこられた、山寺院長とケアマネジャーの岡崎さんにお話ししていただきます。お互いの思いを持ち寄り、一緒に考えたいと思います。ぜひご参加ください。

10月9日(土) 13:30～16:00

ドーンセンター 4階大会議室①

定員72名、コロナ感染
状況により半減あり

◆講師：山寺 慎一さん（医療法人菜の花会 菜の花診療所 院長）

◆講師：岡崎 和佳子さん

有限会社菜の花 代表取締役、ケアマネジャー
看護師、生野区居宅介護支援事業者連絡会代表
特定非営利活動法人 在宅ケアを支える診療所・
市民全国ネットワーク副代表

※患者さんの家族の立場からの発言もあります

◆参加資料代：会員 500円 会員外 1,000円

◆申込先：事務局 FAX 06-6762-0550

メール wabas-osaka@mbm.nifty.com

主催：高齢社会をよくする女性の会・大阪

「住み慣れた場所で 安心して暮らすために」

申 込 書

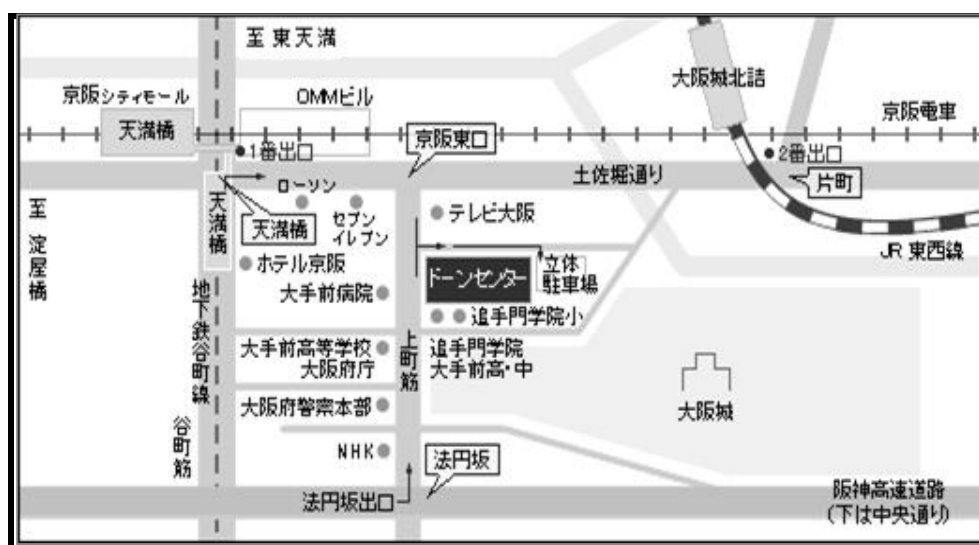
- ◆コロナ禍のもと、[1] 会場でのリアル参加、[2] オンライン参加の併用で開催いたします。
お申込みの際は、下記 [1] ・[2] のいずれかに○を付けてください。

1	会場（ドーンセンター）で参加する ⇒ 当日、会場受付で参加費をお支払い下さい
2	オンラインで参加する ⇒ お申込みいただいた方に入金方法をメールでご案内します 入金確認後、セミナー受講の URL をお送りします

- ◆尚、コロナウイルスの感染状況により ドーンセンターが閉館になった場合、お申し込みの方には改めてご連絡いたします。

記 入 欄	お名前		ふりがな	
	ご住所		(〒 -)	
	電話		メール アドレス	オンライン参加の方は忘れずお書きください
	携帯			
	所属・お仕事			

ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター) TEL : 06-6910-8500



- ・京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m
- ・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m
- ・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m